

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立本城リサイクル工房	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市八幡西区洞北町7-10		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区沖台二丁目4番8号 育成会会館3階		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A型））の管理運営。		
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント			
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み			
(1) 施設の設置目的の達成			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。			
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。			
[所見]			
【利用率】 (単位：%)			
年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度
目標値	109	109	109
実績	105.8	107.5	103.2
※利用率算出方法：延べ利用者数÷（定員×開所日数）			
※ <input type="text"/> …対象年度（以下、同じ）			
【月平均工賃額（就労継続支援B型）】（単位：円）			
年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度
実績	154,891	145,410	147,725
①・利用者の就労意欲の向上を目指した自己目標の設定・定期的な見直しにより、個人の目標に則した支援を実施しており、施設利用率は103.2%となる。（目標109%）			
・利用者が主体的に作業に参加できるように基本配置は職員が組み立て、作業の順番は利用者で決めるようにし、利用者の自主性を培った。			
②・小学生の見学者や企業の見学者を例年並み受け入れており、今年度は環境局施設課の監修のもと作成した「かんびん・PETボトルの分別、リサイクルの啓発」DVDを見学者に視聴してもらい、障害福祉サービス事業所の取り組み及び北九州市の公害や環境問題の歴史と対策の取り組みの説明を行った。			
③・事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズに合ったサービスの提供に努めている。			
・従業員の高齢化に伴い、身体機能測定や口腔検診を年1回実施し、嘱託医による健康相談を月に1回、看護師健康相談を月に2回実施して、従業員の健康維持に努めている。			

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。
- ⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

施設の総合評価

【満足度】

(単位：%)

年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度
目標値	85	85	85
実績	82	69.5	84.1

- ① ・アンケートの結果、施設の各サービスの「良い」、「まあまあ良い」を合わせた利用者満足度の評価は、84.1%となっており、前年度に新型コロナウイルス感染症予防で外出の自粛を行ったため満足度が下がったが、今年度は利用者アンケートの意見を取り入れた結果、満足度が例年に回復した。
- ② ・前年度のアンケートの要望や意見、利用者主催の当事者会や個別面談を通じ、利用者や家族の意見を聞き取り、サービスの向上の取組みを行っている。今年度は部会活動を中心に地域活動や行事の内容を検討し、利用者の要望を反映した。また、前年度は実施できなかった外出活動を新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら実施した。
- ③ ・法人として苦情解決制度を設けており、意見箱を設置している。今年度は2件の苦情があったが、法人苦情解決委員と連携し、迅速に対応を行った。
- ④ ・朝礼・終礼・部会活動時に利用者に対し、分かりやすいように写真や絵を用いて視覚的に工夫している。また理解の困難な方には個別で説明を行っている。
- ⑤ ・例年ボランティアを受け入れているが、新型コロナウイルス感染症対策のため、受け入れはなかった。ただし、福岡県介護等体験事業で大学生2名の体験実習を受け入れた。
- ⑥ ・利用者互助会を積極的に行っており、芸術活動や北九州市環境首都検定、忘年会など利用者が主体的に組み立て、充実した活動を行っている。今年度は障害者芸術祭では、1名が実行委員賞を受賞し、また北九州市環境首都検定ではジュニアコース2名、中高生コース1名の合格者を輩出し、グループ部門では「就労継続支援賞」を受賞している。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な

取り組みがなされ、その効果があったか。

② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

【光熱水費】 (単位：円)

年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度
予算	279,000	280,000	232,000
決算	210,009	211,280	190,342

①・法人本部と四半期ごとに業務分析を行い、収支の動向及び予算執行状況を確認し職員会議で職員に周知し経費削減の意識の醸成に取り組んでいる。
・エコアクション21の目標達成に向けて電力使用効率の向上や総排水量の削減等の取り組みを行い、経費削減に努めている。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

・提供するサービスは、障害者総合支援法に基づく法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫の余地がない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

[所見]

①・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、モニタリングの結果、施設の維持管理は適切に行われている。
②・様々な研修を実施しており、法人研修に加え、施設外研修に参加するなど職員のスキル向上に努めている。また、職員の業務習得及び能力開発に関し、目標管理に基づいた育成を計画的に行っている。
③・環境局の主催する「クリーン北九州まち美化キャンペーン」「市民いっせいまち美化の日」に参加し、地域の清掃に取り組んでいる。また、洞海湾の「シバナ」生息地清掃活動を地域の企業と毎月行っている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。

② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。

- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。
- ⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

①②

- ・法人の規則に則り、利用者の個人情報保護、人権尊重及び身体拘束の適正化等への取り組みにより、適切な運営に努めている。

②・「利用者の権利擁護規程」「虐待防止規程」等を整備し、虐待防止委員会や接遇向上委員会を設置するとともに事業所内でも研修を行い、利用者の人権擁護に努めている。

④・モニタリングの結果、収支の内容に不審なところはなく、適切に管理運営がされている。

⑤・従業員の安全で快適な職場づくりを目指して職場内で安全教育を実施し、「労働災害ゼロ・疾病災害ゼロ」を目標に安全衛生管理計画を推進している。

⑤⑥

- ・危機管理体制を整えており、「ヒヤリハット」の速やかな対処と職員間の情報共有を図るなど、事故に対する意識向上に取り組んでいる。また、利用者たちによる部会活動の中で安全研修やヒヤリハット報告の対策等を行っており、利用者への事故防止意識の醸造にも取り組んでいる。

⑦・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症対策として、手洗い・うがいの徹底、作業前後の消毒の徹底を行い、新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生したものの感染拡大はしなかった。

【総合評価】

【所見】

- ・部会活動や健康増進への取り組みなどを通して、利用者の健康管理や安全管理研修の実施などにより、利用者の能力向上にも努めている。また、職員の資質・能力向上については、目標管理がなされ計画的に行われている。
- ・利用者アンケートの意見を反映し、利用者間のトラブルの解消や新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら外出活動を行い、満足度を向上させている。
- ・利用者互助会の活動を積極的に行っており、北九州市環境首都検定や障害者芸術祭など利用者の生きがいづくりを行っている。

【今後の対応】

- ・現状に引き続き、施設の管理運営の適切な実施を期待する。